

01
目的

世界中に健康を届ける企業として、我々自身が心身ともに健康で元気でいきいきと働くことができる企業であることを目的に「オムロングループ健康宣言」に基づき健康経営の実践に取り組んでいる。また、自らの取り組みを通じて得た知見を活かし、社会全体における健康経営の実践に貢献していくことを目指している。

02
課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題と効果



課題：④ 企業の社会的責任

健康経営で解決したい経営上の課題	従業員の心身の健康増進 脳・心血管疾患発症ゼロ(ゼロイベント)を目指す弊社は、2次予防の領域で、高精度なデバイス技術に基づく、家庭用デバイスの提供、健康状態の可視化という価値提供から、今後はグローバルでの1次～3次予防サービスとデバイス・頭脳を提供し、医療費抑制と医療格差の是正の実現へ更に進化する必要がある。その実現にはイノベーションの更なる発揮と社員が健康であり続けることが経営上の課題であると認識している。
健康経営の実施により期待する効果	①社員やご家族が安心できる企業風土の醸成 ②お客様からの理解と共感による事業拡大 ③仕入先や行政などステークホルダーからの企業イメージ向上 ④新卒、キャリア入社希望者増加による更なるイノベーションの創出 ⑤高齢社員の心理的安全性の担保

自社従業員(組織)の課題と目標



●重点課題1



⑬生活習慣病等の疾病リスクを持つ従業員への重症化予防の課題

課題内容	(目標)脳・心血管疾患の発症を抑制する 当社は、高血圧に起因する脳・心血管疾患(イベント)の発症ゼロを目指す「ゼロイベント」を事業ビジョンに掲げている。家庭での血圧測定を習慣化し、血圧適正化のために、生活習慣の見直しと行動変容を実践することで、全員が血圧の適正化を目指すことにチャレンジする。		
目標	測定推進週間(10月)における血圧測定実施者率100%(約600名)		
	数値	年度	
	目標値	100.0%	2021

●重点課題2



⑰従業員の喫煙率低下

課題内容	(目標)就業時間内(休憩を含む)の「全社禁煙化」就業規則化 当社は、高血圧に起因する脳・心血管疾患(イベント)の発症ゼロを目指す「ゼロイベント」を事業ビジョンに掲げている。喫煙習慣は高血圧の原因であると共に脳・心血管疾患の発症リスクを高めることが確認されており、事業ビジョン達成、健康経営推進の重点テーマとして受動喫煙防止、禁煙推進の取組みを行っている。喫煙率もゼロを目指している。		
目標	喫煙率 ゼロ(2024年3月末までに)		
	数値	年度	
	目標値	0.0%	2024

04
健康経営
の成果

経営上の課題に対する健康経営の成果

世界中に健康を届ける企業として、ここで働けば自然とリテラシーと健康習慣が身に付き、我々自身が心身ともに健康で元気でいきいきと働くことができるWell-beingな会社を目指している。また自ら得た知見を活かした健康施策を外販し、共感、実践頂く仲間が増えることで、健康経営の実践を進め、社会的責任を果たすことができると考える。

03
施策・実績

健康経営の取り組み

●施策内容<重点課題1>



歩数、血圧、体重を測定する全員参加型のコーポレートウエルネスサービス

測定推進週間(10月)における血圧測定実施者率100%(約600名)

	数値	年度
取組前実績値	90.0%	2019
現在の実績値	100%(達成)	2021

具体的な実践内容1

分類	自社サービス
名称	社内名称;オムロンゼロイベントチャレンジ(オムゼロ) 外販名;KARADO! https://www.healthcare.omron.co.jp/zeroevents/about/report01.html https://www.healthcare.omron.co.jp/corp/topics/2021/1125.html (KARADO!) https://www.healthcare.omron.co.jp/sp/karado/ (KARADO!)
提供元社名	(回答不要)
内容	コーポレートウエルネスサービス
導入時期	2017年度～(外販は21年度から)
選択理由	(回答不要)
評価(定量・定性)	●20年度血圧測定推進週間における測定実施者率:100%達成。また152人のかくれ高血圧リスク者(135/85mmHg以上)を発見。 https://www.healthcare.omron.co.jp/corp/health-and-productivity.html ※かくれ高血圧:定期健診では基準値以下だったが、家庭血圧の平均値では基準値を超えた人 ●社員全員が家庭での血圧測定を習慣化し、自分の血圧レベルを知り、生活習慣の見直しと行動変容をおこなうことで、全員が血圧の適正化を目指すことにチャレンジしている。

具体的な実践内容2

分類	自社サービス
名称	特定保健指導(血圧計、歩数計、体重計、専用アプリ、管理画面(ダッシュボード)) https://www.healthcare.omron.co.jp/corp/news/2019/0408.html https://www.healthcare.omron.co.jp/sp/health_guidance/
提供元社名	(回答不要)
内容	特定保健指導
導入時期	2020年度～
選択理由	(回答不要)
評価(定量・定性)	●血圧、歩数、体重の日々の測定データをスマホと専用アプリを用いて管理する、測定習慣の定着にフォーカスしたパーソナライズの特設保健指導。積極的支援対象者大幅に減少。(18年度43.2%減) ●健診時だけでなく、健康機器からスマホを介し得られる自己申告ではない“測定データ”を元に管理栄養士が指導を行う。鮮度の高い情報により感度の高い指導ができ、「測定習慣」が身につく、カラダの数値が変化したことを実感し行動変容を実践できる。

取り組みについての課題や困っていること

実施している施策の課題	健康施策の取組に必要な個人のデータの統合管理について。会社は、健康情報、就業上の情報、家族情報といった多岐に亘るデータを保有しており、匿名化しても、人物像が浮き出てくる為、プライバシーが担保しにくい。現行以上のデータを組み合わせた分析やサービス開発、データの統合管理は慎重にすすめている。
今後取り組みたい施策の課題	今後、施策への参加の任意性の担保、SNSを介した「レピュテーション・リスク」を想定しておく必要があると考える。